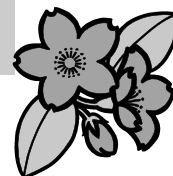


# Bee通信

平成22年 4月10日号

## 「組織風土」は日々作られている！

吉岡 規子



皆様の会社でも受給したかもしれない「中小企業緊急雇用安定助成金」を含む雇用調整助成金は、平成21年度で約80万事業所が受理され、約2,200万人の労働者が対象となりました。その額なんと6億5千万円！

これだけ多くの会社がお世話になった助成金が、過去にあったでしょうか？

経営者が会社を維持するために“背に腹はかえられない”という気持ちで、髪振り乱して朝6時から手続きに並んだ昨年の1月。それでも半日つぶれる日もありました。時間が経つにつれ、行政窓口配置する人数を多くしたり、書類のやりとりもスムーズにいくよう改善され、今では30分待たされることもありません。

しかし良くなったことばかりではありません。時間が経つにつれ、受給した会社の実態もあばかれてきました。先日、厚生労働省は“平成21年4月～平成22年1月の間に、架空の休業や教育訓練を実施したとして虚偽の申請を行ったことなどにより、52事業所、1億9,350円を不正として処分した”と発表しました。“背に腹はかえられない”行動が、公金を横領している意識もなく助成金を申請していたとしたら、これは恐ろしいことです。

不正をした会社名の発表はありませんでしたが、“見つからなければいいや”は組織の風土となっていくます。いや、組織の風土となっているから、そのような行動をとったのかもしれない。

話は変わりますが、社員の出入りが多い職場は、不思議とずっと出入りが多いのです。経営者や担当者は「この業界はレベルの低い人間しか来ないから」とか「うちの会社は小さいから仕方がない」とか、業界や規模を理由にします。

繰り返し業界や規模を理由にしていると、そのうち「イメージ化」されてしまい、社員達もそんな組織だと諦めムードになります。そのムードそのものが“風土”なのです。

組織風土とは、そこにいる「人」が繰り返した結果、創りあげたものです。その組織にいることにより「人」までが変わります。この時期、入社した若者達は私に元気良く挨拶してくれます。しかし、半年経つ頃には、こちらが挨拶をしても声を出さずに会釈だけする若者もいます。なぜなら、そこにいる上司も挨拶をしないからです。

どのような“組織”となっていくかは日々の積み重ねです。さあ、明日から小さなことからコツコツと、良い行いを心がけましょう。きっと、あなたの組織も吹く“風”も変わってきますよ。

## 卒業式

## Beeを卒業！ 青井由生子

3月末でBeeパートナーズを卒業し、独立開業することになりました。現在は開業準備をしつつ、労基法の知識をブラッシュアップするため、4月1日から某監督署窓口で働いています。

Beeで過ごした3年間、お目にかかったときはもちろん、電話やメールでいつもお心をかけてくださった皆さまには心より感謝申し上げます。

皆さまにご質問やご相談、時にお叱りをいただいたことは、私の貴重な財産です。本当にありがとうございました！

卒業とはいっても、BeeのOGの一員として“Bee通信”や様々な場面でお目にかかることと思いますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。（青井）



Beeスタッフ・OG等…全員勢揃いとなりました